

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 当院における膵充実性腫瘍に対する超音波内視鏡下穿刺吸引術(Endoscopic UltraSound-guided Fine Needle Aspiration:EUS-FNA)の診断能や安全性についての検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 消化器内科 職位・氏名 助教・齋藤 倫寛

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院消化器内科では、膵充実性腫瘍に対し組織学的確定診断を得るため積極的に超音波内視鏡下穿刺吸引術(Endoscopic UltraSound-guided Fine Needle Aspiration:EUS-FNA)を行っています。膵充実性腫瘍における EUS-FNA の有用性は広く認知されていますが、近年、良性か悪性か(癌か否か)の診断のみならず正確な組織型診断が求められてきています。組織型とは、癌組織の構造と癌細胞の特徴による分類です。膵癌にはさまざまな組織型が存在しており、癌の広がり方の特徴や悪性の程度、さらには治療方法も組織型によって異なってくる場合があります、手術などの治療の前に正確な組織型を診断する事は非常に重要です。当院では今まで報告の多い細胞診ではなく、より組織型診断を重視した組織診を EUS-FNA で行っており、当院で施行された EUS-FNA を検討する事で、さらなる診断能と安全性の向上を目指す事を目的とします。

【研究対象および方法】

この研究は、(東邦大学医療センター大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。対象者:2013年1月～2021年8月の間に膵充実性腫瘍に対し EUS-FNA を施行された患者さんを対象として、診療録(カルテ)から抽出した臨床データを解析します。対象数は約 300 例の予定です。

【研究に用いられる試料・情報】

情報:病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、個人情報 等

【外部への試料・情報の提供】

外部への試料・情報の提供はありません。

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科

職位・氏名 助教・齋藤 倫寛

電話 03-3468-1251 内線 2022